

令和 7 年第 7 回・西海市農業委員会総会議事録

1. 開催日時 令和 7 年 7 月 2 5 日（金）
午後 2 時 0 0 分から午後 3 時 2 0 分
2. 開催場所 西海市役所本庁 3 階 議員控室
3. 委員定数 条例定数 1 9 人 現委員 1 9 人
4. 出席委員（1 8 人）

会 長	1 番	葉山 諭						
会長代理	2 番	水嶋 政明						
委 員	3 番	山田 康弘	4 番	中尾 正則	5 番	大串 英明		
	6 番	坂口 初男	7 番	河本 光晴	9 番	相川 浩一		
	1 0 番	葉山 静子	1 1 番	本山 光幸	1 2 番	安藤 卓巳		
	1 3 番	谷脇 文弘	1 4 番	山口用一郎	1 5 番	柿田 敏彦		
	1 6 番	前田 明代	1 7 番	中村 和也	1 8 番	松崎 常俊		
	1 9 番	林 辰造						
5. 欠席委員（1 人）
8 番 梅山 清春
6. 議事日程
 - 第 1 議事録署名委員の指名
 - 第 2 議案第 2 7 号 農地法第 3 条の規定による許可申請について
議案第 2 8 号 農地法第 4 条の規定による許可申請について
議案第 2 9 号 農地法第 5 条の規定による許可申請について
議案第 3 0 号 農地中間管理事業における農用地利用集積等促進計画
（案）に関する意見について
議案第 3 1 号 非農地通知の対象とすることの決定について
7. 事務局 事務局長：浦野 幸征 局長補佐：桑原 智徳 係長：谷内 美佳
8. 会議の概要

事務局 只今から令和 7 年西海市農業委員会第 7 回総会を開会いたします。
出席委員は在任委員 19 名中 18 名で、定足数に達しておりますので総会
は成立しております。

それでは、西海市農業委員会会議規則第 6 条の規定により、議長は
会長が務めることとなっておりますので、議事の進行は会長をお願い
いたします。

議 長 これより議事に入ります。まず日程第 1 の議事録署名委員の指名を行います。西海市農業委員会会議規則第 20 条第 2 項に規定する議事録署名委員ですが、議長から指名させていただくことにご異議ありませんか。

《異議なしの声あり》

議 長 今回の議事録署名委員は、9 番：相川 委員、10 番：葉山 委員にお願いいたします。

議 長 それでは議事に入りますが議事進行上、発言される際は挙手をし、議長の許可を受けてから、氏名を告げて発言をお願いします。
まず、議案第 27 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について」の 1 番を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 事務局です。議案第 27 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について」の 1 番を説明します。資料 3 頁は、今回申請がありました 4 件の位置図です。1 番は、西海町太田和郷の案件です。次頁 4 頁は議案書で、西海町太田和郷字大久保の畑、1 筆 175 ㎡の申請となっています。申請地の地番・面積・現況等の内容、譲り渡し人・譲り受け人に関する詳細は、議案書記載のとおりです。

申請事由については、譲り受け人は、近接する畑で樹園地を経営しており、付近一帯を基盤整備等により農地改良し、作業の効率化・省力化を図るため、今回申請地を取得するもので、許可後に売買により所有権移転を行うもの、となっています。圃場は、自宅より車で約 5 分の距離にあり、みかんを栽培予定です。関係資料は、3 頁から 9 頁までで、3 頁に位置図、4 頁に議案書、5 頁に付近近況図、6 頁に字図、7 頁・8 頁に現況写真、9 頁に航空写真を添付しています。6 頁の字図は、黄色に塗られているところが申請地で、現況写真番号と撮影方向を記載しています。9 頁の航空写真は、赤枠で囲まれた部分が申請地です。

今回の申請は、農地法第 3 条第 2 項各号には該当しないことから許可要件のすべて満たしていると考えます。事務局の説明は以上です。

議 長 ただいま説明がありました議案第 27 号の 1 番につきまして、10 番委員、補足説明をお願いします。

10 番 10 番委員です。7 月 19 日に 18 番委員と、譲り受け人と一緒に現場を見に行きました。譲り受け人は西海町太田和地区でも有数のみかん

農家で、あちこちで自分の農地の近くを切り開いて規模拡大を図っています。今回の場所は、9頁の航空写真を見ていただくと分かりますが、次の3条の2の申請地のすぐ隣に譲り受け人のミカン小屋があります。そのすぐ脇から3条の1を含めた範囲を、真ん中は山林になっていますが、そこも含めて開墾し、1枚になるか2枚になるかは、地形によってわかりませんが、そこをミカン畑としたいということでした。この場所は現況写真でもわかりますように、竹藪が道までかぶさっているような場所ですので、そこを切り開いて、ミカン園にしてもらうということに関しては、私たち農業委員としては、大いにやっていただきたいという気持ちで見てきました。説明は以上です。

議 長 ただ今、議案第27号の1番について説明がありました。これより質疑に入ります。皆さんから何かご意見等ございませんか。
《なしの声あり》

議 長 無いようでしたら、本案について許可することに異議ございませんか。
《異議なしの声あり》

議 長 「異議なし」と認めます。よって、議案第27号「農地法第3条の規定による許可申請について」の1番については、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 続きまして、議案第27号の2番を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 事務局です。議案第27号の2番について説明します。議案書は10頁で、西海町太田和郷字大久保の畑、1筆413㎡の申請となっています。申請地の地番・面積・現況等の内容、譲り渡し人・譲り受け人に関する詳細は、議案書記載のとおりです。申請事由については、3条の1と同じで、譲り受け人は、近接する畑で樹園地を経営しており、付近一帯を基盤整備等により農地改良し、作業の効率化・省力化を図るため、今回申請地を取得するもので、許可後に売買により所有権移転を行うもの、となっています。ミカンを栽培予定です。

関係資料は、10頁から15頁までで、3頁に位置図、10頁に議案書、11頁に付近近況図、12頁に字図、13頁・14頁に現況写真、15頁に航空写真を添付しています。12頁の字図は、黄色に塗られているところが申請地で、現況写真番号と撮影方向を記載しています。15頁の航空写真は、赤枠で囲まれた部分が申請地です。

今回の申請は、農地法第3条第2項各号には該当しないことから許

可要件のすべて満たしていると考えます。事務局の説明は以上です。

議 長 ただいま説明がありました議案第 27 号の 2 番につきまして、10 番委員、補足説明をお願いします。

10 番 10 番委員です。これも内容的には 1 番と同じで、真ん中の山地を含めて開墾し、整地するようです。譲り受け人は、人を雇わなくても、自分で小型の重機を持っていて、それを使って、時間は掛かるかもしれませんが、思い通りに整地できるということです。許可して問題はないと思います。よろしくお願いします。

議 長 ただ今、議案第 27 号の 2 番について説明がありました。これより質疑に入ります。皆さんから何かご意見等ございませんか。

17 番 17 番委員です。今の説明によりますと、1 番と 2 番の間の山林も、畑にするということでしたが、それでよろしかったでしょうか。

10 番 10 番委員です。間の土地は地目が山林であるため、ここには上がってきていませんが、ここも含めたところで開墾して、順次ミカン園として整備するということでした。

17 番 わかりました。

議 長 他に、意見等ございませんか。
《なしの声あり》

議 長 無いようでしたら、本案について許可することに異議ございませんか。
《異議なしの声あり》

議 長 「異議なし」と認めます。よって、議案第 27 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について」の 2 番については、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 続きまして、議案第 27 号の 3 番を議題といたしますが、本案は、12 番委員が当事者となっている事案でありますので、農業委員会法第 31 条の規定に基づく議事参与の制限により、審議に参加できませんので、審議終了まで退席をお願いします。

《12 番委員 退席》

議 長 それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局 事務局です。議案第 27 号の 3 番について説明します。資料 16 頁は議案書で、西彼町大串郷字横浦の田、1 筆 1,540 m²の申請となっています。申請地の地番・面積・現況等の内容、貸し渡し人・借り受け人に関する詳細は、議案書記載のとおりです。申請事由については、借り受け人が、経営地の規模拡大のため、使用貸借権を 1 年間設定するもの、となっています。圃場は、借り受け人の自宅から車で約 3 分の所に位置しており、馬鈴薯を栽培予定です。

農地法第 3 条の許可申請の関係資料は、16 頁から 21 頁までで、3 頁に位置図、16 頁が議案書で、17 頁に付近近況図、18 頁に字図、19 頁・20 頁に現況写真、21 頁に航空写真を添付しています。18 頁の字図は、黄色に塗られているところが申請地で、現況写真番号と撮影方向を記載しています。21 頁の航空写真は、赤枠で囲まれた部分が申請地です。今回の申請は、農地法第 3 条第 2 項各号には該当しないことから許可要件のすべてを満たしていると考えます。事務局の説明は以上です。

議 長 ただいま説明がありました議案第 27 号の 3 番につきまして、3 番委員、補足説明をお願いします。

3 番 3 番委員です。7 月 23 日に申請者本人である 12 番委員、そして地元推進委員 2 名と私とで現地を確認させていただきました。申請地につきましては、これまで大学生との農業体験に関わってきた流れから、大学生と一緒にジャガイモを栽培したいということでした。所有者とは、近所の間柄ということもあり、中間管理事業を通さない、個人間での無償貸借契約を結ぶということでした。そして今後は、大串地区周辺において、耕作放棄地となっている農地についても相談をすすめ、作付を広げていきたいという意向もありました。以上です。

議 長 ただ今、議案第 27 号の 3 番について説明がありました。これより質疑に入ります。皆さんから何かご意見等ございませんか。

2 番 2 番委員です。質問ではないのですが、使用貸借権の設定をするなら中間管理事業を通した方が、相対でされるより明確になってよいと思いますが。今それを推進していることもありますし。

事務局 事務局です。申請人には確認していませんが、本件につきましては、期間や借り受け人等の要件が、中間管理事業になじまないため、農地

法第 3 条の許可申請となったものと思われます。

2 番 わかりました。

議 長 他に、意見等ございませんか。
《なしの声あり》

議 長 無いようでしたら、本案について許可することに異議ございませんか。
《異議なしの声あり》

議 長 「異議なし」と認めます。よって、議案第 27 号「農地法第 3 条の規定による許可申請について」の 3 番については、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 12 番委員、入室してください。

《12 番委員 着席》

議 長 続きまして、議案第 27 号の 4 番を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 事務局です。議案第 27 号の 4 番について説明します。資料 22 頁は議案書で、物件は、西海町太田和郷字古屋敷の田 2 筆、合計 2,258 ㎡の申請となっています。申請地の地番・面積・現況等の内容、譲り渡し人・譲り受け人に関する詳細は、議案書記載のとおりです。申請事由は、譲り受け人の規模拡大のため、贈与により、申請地を所有権移転するもの、となっています。譲り渡し人と譲り受け人は、知り合いであるため、贈与にしたそうです。圃場は、自宅から車で約 10 分の所にあり、露地野菜を栽培予定です。

関係資料は、22 頁から 27 頁までで、3 頁に位置図、22 頁に議案書、23 頁に付近近況図、24 頁に字図、25 頁・26 頁に現況写真、27 頁に航空写真を添付しています。24 頁の字図は、黄色に塗られているところが申請地で、現況写真番号と撮影方向を記載しています。27 頁の航空写真は、赤枠で囲まれた部分が申請地です。今回の申請は、農地法第 3 条第 2 項各号には該当しないことから許可要件のすべて満たしていると考えます。事務局の説明は以上です。

議 長 ただいま説明がありました議案第 27 号の 4 番につきまして、18 番委員、補足説明をお願いします。

18番 18番委員です。7月19日に、譲り受け人とは連絡が取れませんでしたので、私と10番委員とで現地確認をして、後ほど譲り受け人に電話をして、確認を取りました。私も小さいころからこの畑は見ていましたが、どのような経緯で今回の申請となったのかを確認しました。ずっと以前は、譲り渡し人が田んぼを作っていましたが、耕作できなくなり、ここの近所に譲り受け人の奥さんの実家がありますが、そこのお父さんがそのあとを受けて作っていたそうです。その方ももう耕作できなくなり、そのあとは、譲り受け人が、ひまわりやコスモスを植えるなどして、荒れないように管理をしていたそうです。今回譲り渡し人の方から、自分では管理ができないため、できれば今後も譲り受け人に管理をしてもらいたいということで、無償譲渡になったという経過でした。荒れないようにきれいに管理ができていますので、何も問題ないと思います。よろしくお願いします。

議長 ただ今、議案第27号の4番について説明がありました。これより質疑に入ります。皆さんから何かご意見等ございませんか。
《なしの声あり》

議長 無いようでしたら、本案について許可することに異議ございませんか。
《異議なしの声あり》

議長 「異議なし」と認めます。よって、議案第27号「農地法第3条の規定による許可申請について」の4番については、申請どおり許可することに決定いたします。

議長 続きまして、議案第28号「農地法第4条の規定による許可申請について」の1番を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 事務局です。議案第28号「農地法第4条の規定による許可申請について」の1番を説明します。資料28頁は議案書です。物件の所在は、大瀬戸町多以良外郷字中尾ノ下で、田1筆607㎡の申請となっています。申請人に関する事項は、議案書記載のとおりです。転用の目的は、中ほどの下段に詳細を記載していますが、申請人が営んでいる店舗(飲食業)の駐車場が不足するため、恒久的に駐車場として転用するもの、となっています。36頁は平面配置図で、5区画分の駐車場を整備するものです。本申請地は、令和6年6月24日総会において農振除外済みで、今回の転用申請となったものです。関係資料は、28頁から36頁までで、28頁に議案書、29頁に位置図、30頁に付近近況図、31頁に

字図、32 頁・33 頁に現況写真、34 頁に航空写真、35 頁に被害防除計画書、36 頁に平面配置図を添付しております。35 頁に戻りまして、被害防除計画の内容ですが、現状のまま利用するものとなっており、隣接地には 1 筆農地（休耕地）があるが、被害の発生の恐れはない、となっています。

34 頁の航空写真からも判断できますが、国道と用悪水路及び宅地に囲まれた、10ha 以下の農業公共投資の対象となっていない孤立した生産性の低い農地であり、第 2 種農地と判断します。事務局の説明は以上です。

議 長 ただいま説明がありました議案第 28 号の 1 番につきまして 11 番委員、補足説明をお願いします。

1 1 番 11 番委員です。7 月 22 日に申請者本人と現場を確認しました。先ほど事務局から説明があった通り、以前農用地区域からの除外が審議された案件で、申請者は飲食業を営んでいます。店の前があまり広くないため、そこをお客様専用の駐車場として使い、自分たちの車を置く所が足りないということで、ここに 5 台ぐらい置けるスペースを作りたいということでした。隣接地はいずれも親戚筋の所有で、一緒に管理を行っていて、今回この申請により、駐車場として使いたいということで上がっています。以上です。

議 長 ただ今、議案第 28 号の 1 番について説明がありました。これより質疑に入ります。皆さんから何かご意見等ございませんか。

1 8 番 18 番委員です。確認しますが、申請地に駐車するためには、北側の隣接農地を通ることになるのではないのでしょうか。もしそうであれば、この隣接農地も通路として、転用申請が必要になると思われませんが。

事務局 事務局です。36 頁の平面配置図、または 34 頁の航空写真をご覧ください。申請地東側を縦に走る水路に沿って進入路があり。ここを通って申請地への出入りがなされています。この進入路はスロープになったような感じで一段低くなっていますので、北側の隣接農地に進入することはないと思われまます。

1 8 番 わかりました。

議 長 他に、意見等ございませんか。
《なしの声あり》

議 長 無いようでしたら、本案について許可することに異議ございませんか。

《異議なしの声あり》

議 長 「異議なし」と認めます。よって、議案第 28 号「農地法第 4 条の規定による許可申請について」の 1 番については、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 続きまして、議案第 29 号「農地法第 5 条の規定による許可申請について」の 1 番を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 事務局です。議案第 29 号「農地法第 5 条の規定による許可申請について」の 1 番を説明します。資料 37 頁は、今回申請がありました農地法第 5 条申請 2 件の位置図です。1 番は、西彼町喰場郷の案件です。38 頁は 1 番の議案書です。物件は、西彼町喰場郷字中ノ島の畑で、1 筆 395 m²の申請となっています。譲り渡し人・譲り受け人に関する事項は、議案書記載のとおりです。転用の目的は、下段の右側に詳細を記載していますが、譲り受け人は、現在借家住まいであり、子供の成長に伴い手狭となったため、申請地に一般個人住宅を建築するもの。許可があり次第、贈与により、所有権を移転するもの、となっています。本申請地は、令和 6 年 10 月 25 日の総会において農振除外済みで、今回の転用申請となったものです。譲り渡し人と譲り受け人は親戚で、権利内容は「所有権の移転・贈与」となっています。資料は、37 頁から 46 頁までで、37 頁に位置図、38 頁に議案書、39 頁に付近近況図、40 頁に字図、41 頁・42 頁に現況写真、43 頁に航空写真、44 頁に被害防除計画書、45 頁に平面配置図、46 頁に立面図を添付しています。

44 頁に戻りまして、被害防除計画の内容ですが、現状のまま利用し、擁壁を設ける。土地表面は整地するに留め、盛土や切土は行わない。併せて土地境界周辺には構造ブロックを設置し、土砂の流出や崩壊等は発生しないようにする、となっています。排水等は、最終的に水路に放流することとしており、雨水排水及び浄化槽処理水の排水について、西海市役所建設課と協議済みとのことです。排水の経路については、次頁の 45 頁の平面配置図に図示していますが、青色の実線が雨水の排水経路、赤色の実線が生活雑排水等の排水経路を示しています。周辺農地の営農条件に支障を生じさせないための措置として、建物の高さを 5 m 程度とし、平屋造りとするため、日照や通風等で悪影響を及ぼす恐れはない、となっています。万一、隣接農地に被害を及ぼした場合については、申請者の責により解決する、となっています。43 頁の航空写真からも判断できますが、農地も散在していますが、周囲は、山林や原野及び市道に囲まれた、10ha 以下の農業公共投資の対象

となっていない生産性の低い農地で、第2種農地と判断します。事務局の説明は以上です。

議 長 ただいま説明がありました議案第29号の1番につきまして、19番委員、補足説明をお願いします。

19番 19番委員です。7月18日に電話連絡を取りましたが、譲り受け人本人は船に乗っておられて不在ということで、7月20日に、地元推進委員2名と譲り受け人のお父さんとともに、現地の確認と聞き取りを行いました。宅地を少し下げるように整地して、擁壁と側溝を設置するということでした。それで車庫の部分を掘り下げのような計画ですが、隣接する畑から土砂の流れ込み等が無いように、擁壁を少し高めにするそうです。排水については、前面道路側に現在のところ側溝はありませんが、浄化槽を設置して、水路までパイプをつないで排水するそうです。水路まではかなり距離がありますが、そこも譲り渡し人の土地を利用することで話がついているそうです。また、ちょうど日曜日でしたので、隣接宅地にお住まいの方もおられてお話をしました。何か問題があれば、その都度協議をしましょうということで、お互いに納得していました。以上です。

議 長 ただ今、議案第29号の1番について説明がありました。これより質疑に入ります。皆さんから何かご意見等ございませんか。
《なしの声あり》

議 長 無いようでしたら、本案について許可することに異議ございませんか。
《異議なしの声あり》

議 長 「異議なし」と認めます。よって、議案第29号「農地法第5条の規定による許可申請について」の1番については、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 続きまして、議案第29号の2番を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

事務局 事務局です。議案第29号の2番を説明します。資料47頁が、2番の議案書です。物件は、西彼町小迎郷字枇杷太郎の畑で、1筆304㎡の申請となっています。譲り渡し人・譲り受け人に関する事項は、議案書記載のとおりです。転用の目的は、下段の右側に詳細を記載していますが、自宅駐車場が確保できなくなるため、駐車場を新規設置す

るもの。許可があり次第、売買により、所有権を移転するもの、となっています。駐車区画を6台分整備するものです。権利内容は「所有権の移転・売買」です。資料は、37頁及び47頁から54頁までで、37頁に位置図、47頁に議案書、48頁に付近近況図、49頁に字図、50頁・51頁に現況写真、52頁に航空写真、53頁に被害防除計画書、54頁に駐車場利用計画図を添付しています。53頁に戻り、被害防除計画の内容ですが、現状のまま利用する。防風林に囲まれた土地で、特に土留め等の必要はない。また雨水は、自然流下で汚水生活排水は排出しない。周辺農地の営農条件に支障を生じさせないための措置として、申請地は、周辺農地より低い位置にあり、高低差があるため被害が及ぶことはない、となっています。万一、隣接農地に被害を及ぼした場合については、申請者の責により解決する、となっています。

52頁の航空写真からも判断できますが、近辺に農地も散在していますが、周囲は、市道及び国道等に囲まれた、10ha以下の農業公共投資の対象となっていない生産性の低い農地で、第2種農地と判断します。事務局の説明は以上です。

議 長 ただいま説明がありました議案第29号の2番につきまして、16番委員、補足説明をお願いします。

16番 16番委員です。7月21日の夕方に、1番委員と地元推進委員2名と私と4人で現地の確認をしてきました。譲り受け人は整備工場を営んでおられ、自宅の周りに車を停める駐車場が確保できなくて、自家用車を停めるために、この申請地を許可があり次第、売買により所有権を移転すると言われていました。周囲の状況を見ても特に問題ない状況でもあり、現況のまま使用されるということで、問題ないと思って見て来ました。以上です。

議 長 ただ今、議案第29号の2番について説明がありました。これより質疑に入ります。皆さんから何かご意見等ございませんか。

《なしの声あり》

議 長 無いようでしたら、本案について許可することに異議ございませんか。

《異議なしの声あり》

議 長 「異議なし」と認めます。よって、議案第29号「農地法第5条の規定による許可申請について」の2番については、申請どおり許可することに決定いたします。

議 長 続きまして、議案第 30 号「農地中間管理事業における農用地利用集積等促進計画（案）に関する意見について」を議題といたしますが、本案は、3 番委員が役員を務める法人が受け手となる事案が含まれているため、農業委員会法第 31 条の規定に基づく議事参与の制限により、審議に参加できませんので、審議終了まで退席をお願いします。

《 3 番委員 退席 》

議 長 それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局 事務局です。「議案第 30 号農地中間管理事業における農用地利用集積等促進計画（案）に関する意見について」を説明します。資料 55 頁は議案書です。次頁 56 頁は、集計表で、利用集積計画 1 筆の合意解約、及び農用地利用集積等促進計画（案）の 9 筆が計上されています。57 頁が、利用集積計画の合意解約分 1 筆の詳細です。解約の理由は、AtoA を解除し、賃貸借に移行するためです。解約面積は 960 m²です。58 頁は、同筆の利用配分計画の合意解約です。59 頁は促進計画（案）の内訳で、今回意見を求められた 9 筆、合計 12,208 m²の出し手、受け手や、農地の所在・地番・地目・面積・賃貸借等の詳細を記載しています。前回も説明しましたが、農地法の改正等により、確認事項として、大項目として 3 点の確認を求められています。先ず 1 点目が、地域計画の達成に資するものであること。2 点目が、受け手が適正な農業者であること。3 点目が、農地が農地法及び関係法令に照らし合わせて問題がないこと、となっています。

次頁 60 頁からは、今回受け手 5 戸の経営状況となっています。手書きで、対応する申請地の番号、筆数及び栽培作物を記載しています。

本案は、農地中間管理事業の推進に関する法律第 19 条の要件を満たしており、特に問題はないものと判断します。事務局からの説明は以上です。

議 長 それでは、1 番と 2 番の補足説明を、11 番委員をお願いします。

1 1 番 11 番委員です。1 番と 2 番の受け手は、中間管理事業の受け手として、よく名前が挙がっていますが、元々祖父がミカンを栽培していて、その経営をそのまま引き継いでいます。大瀬戸町多以良地区で一番の若手でやる気があり、規模拡大を続けている農家です。この 1 番と 2 番についても、ミカンを栽培するということで説明をお聞きしています。以上です。

議 長 続きまして、3 番から 5 番の補足説明を、14 番委員をお願いします。

14番 14番委員です。7月21日に、借り受け者と現地で面談をいたしました。中間管理機構で、たまたま貸し出し・借り受けのマッチングが上手く行ったという話を聞いています。借り受け者につきましては、まだ現在勤め人ですが、お父さんがミカンを栽培されていて、お父さんと協力しながら、水稻を作りたいということでした。現場は、上下2段で立派な田んぼができており、貸し出し農家については、もう高齢者ということで、近年は貸し出すことが多くなっており、今回もミカン畑を貸し出すということで、たまたま上手くいった例ではないかということをおもっています。今後も中間管理機構を通し、契約を進めてもらいたいということで相談を受けています。以上です。

議長 続きまして、6番の補足説明を、7番委員にお願いします。

7番 7番委員です。7月22日に、6番委員と地元推進委員、及び借り受け者本人立ち会いのもと、現地を確認いたしました。借り受け者は、主にミカンと水稻を栽培しておられ、この土地については、ビニールハウス2連棟を建てて、今現在ヒマワリを栽培しておられます。議案書に書いてある通り、更新案件でありまして、今も立派なヒマワリが栽培されていたので、問題ないと判断して帰ってきました。

議長 続きまして、7番と8番の補足説明を、9番委員にお願いします。

9番 9番委員です。7月20日に地元推進委員とともに現地を確認いたしました。当地は受け手法人が入っておられ、牧草とか、或いはイチゴのハウス、それから今回はもう秋作に向けて、トラクターでロータリー耕をしておられました。近隣は非常に荒れた農地が広がっている中で、地域的な作付けの環境の悪さ等もあって大変だと思いますが、これからは長いこと更新を続けていただいて、活きた農地を存続していただければと思って帰ってきました。以上です。

議長 続きまして、9番の補足説明を、18番委員にお願いします。

18番 18番委員です。7月19日に、私と10番委員と借り受け人親子とで現場を確認しました。借り受け人は今回お父さんの名前で挙がっていますが、よく荒れた田んぼ等を借りて、牛を放牧したりしています。今回の案件は、借り受け人の牛舎のすぐ隣で、虚空蔵山の入口の付近にあります。そこで飼料を作りたいということです。荒れた農地ですので、綺麗にしてもらえば、虚空蔵山の入口も綺麗になっていいのではと思いますが、その下にはハウスもありますので、木を切る時はハウスの人たちと協議をしてから境目を切ってくださいと一応言っ

きました。借り受け人については、息子さんが一生懸命やっていますので、何も問題ないと思いますので、よろしくお願いします。

議 長 ただ今、議案第 30 号について、それぞれ説明がありました。これより質疑に入ります。何かご意見等ございませんか。

議 長 無いようでしたら、本案について決定することにご異議ございませんか。

《異議なしの声あり》

議 長 「異議なし」と認めます。よって、議案第 30 号「農地中間管理事業における農用地利用集積等促進計画（案）に関する意見について」につきましては、原案どおり承認することに決定いたします。

議 長 3 番委員、入室してください。

《 3 番委員 着席 》

議 長 続きまして、議案第 31 号「非農地通知の対象とすることの決定について」の申出分を議題といたします。事務局、説明をお願いします。

事務局 事務局です。非農地申出分の資料は、65 頁から 78 頁までです。今回は、6 月 16 日から 7 月 14 日までに受け付けた分を審議していただきます。1 番と 2 番の物件は、西彼町八木原郷字折口の田で、現況は原野、地積は合計で 1,358 m²です。3 番の物件は、西彼町白似田郷字小島の畑で、現況は山林、地積は 673 m²となっています。合計 2 件 3 筆、2,031 m²について審議していただきます。資料は、66 頁に位置図、67 頁以降にそれぞれ関係する資料を、付近近況図、字図、現況写真、航空写真の順に添付しています。69 頁から 72 頁及び 76 頁・77 頁の現況写真を見ていただければ判断できますが、物件は、耕作放棄となり、現況は、雑草や雑木等が、生い茂り、原野・山林化したものと判断されます。非農地通知の対象とすることに、特に支障はないと判断いたしました。

なお、農業者年金、贈与税、不動産取得税関係については事務局で確認できる範囲において影響がない見込みです。事務局からの説明は以上です。

議 長 それでは、1 番と 2 番の補足説明を、16 番委員をお願いします。

1 6 番 16 番委員です。7 月 20 日に、私と地元推進委員と申請者の 3 人で

現地を確認いたしました。ここはもう何十年も耕作されておらず、荒れた状態となっています。資料 69 頁の写真では、一部草刈りをしているように見えますが、この奥にあるアパートの住人が、国道に出る際の見通しを確保するため、定期的に草刈作業をしておられるそうです。申請者は一人暮らしで、また会社勤めでもありますので、この場所を今後耕作する意向は全くないということでした。この場所はちょうど国道沿いであるため、色々なところから電話がかかってきて、借りたいという話はあるものの、現状ではなかなか先に進まないで、今回の非農地申出となったということでした。以上です。

議 長 続きまして、3 番の補足説明を、9 番委員にお願いします。

9 番 9 番委員です。この件につきまして、7 月 20 日、地元推進委員と現地で確認をいたしました。現地の写真の状況を見ましても、地目は畑として載っていますが、現況は雑木林になっています。現地を見ましても、今日まで何年も畑として機能していない状況で、雑木林となっていることを確認して来ました。以上です。

議 長 ただ今、議案第 31 号の申出分についてそれぞれ説明がありました。これより質疑に入ります。何かご意見等ございませんか。
《なしの声あり》

議 長 無いようでしたら、本案について決定することにご異議ございませんか。
《異議なしの声あり》

議 長 「異議なし」と認めます。よって、議案第 31 号「非農地通知の対象とすることの決定について」の申出分 1 番から 3 番につきましては、非農地通知の対象とすることに決定いたします。

議 長 続きまして、議案第 31 号「非農地通知の対象とすることの決定について」の同意書分を議題といたします。事務局、説明をお願いします。

事務局 事務局です。議案第 31 号「非農地通知の対象とすることの決定について」の同意分について説明いたします。今回は、6 月 16 日から 7 月 14 日までに受け付けた分を審議していただきます。1 番から 5 番が西彼町の物件で 2 件 5 筆、6 番から 8 番が西海町の物件で 1 件 3 筆、9 番から 13 番が大島町の物件で 1 件 5 筆、14 番から 27 番が大瀬戸町の物件で 2 件 14 筆、合計 6 件 27 筆 14,554 m²の申請となっています。資料につきましては、81 頁に位置図、82 頁から 86 頁に航空写真配置図、

87 頁から 99 頁に航空写真を添付しています。詳細につきましては、議案書及び資料をご覧ください。

同意対象地は、全体にわたって、利用状況調査、航空写真等で判断するところ、雑木等が茂り山林・原野化しており、特に支障はないと判断いたしました。なお、農業者年金、贈与税、不動産取得税関係については事務局で確認できる範囲において影響がない見込みです。事務局の説明は以上です。

議 長 ただ今、議案第 31 号の同意分について説明がありました。同意分については、補足説明はありませんので、これより質疑に入ります。何かご意見等ございませんか。

《なしの声あり》

議 長 ないようでしたら、本案について決定することに異議ございませんか。

《異議なしの声あり》

議 長 「異議なし」と認めます。よって、議案第 31 号の同意分 1 番から 27 番につきましては、非農地通知の対象とすることに決定いたします。

議 長 以上で、議案審議は終わります。みなさんから何かございませんか。

次回の総会は

日 時：令和 7 年 8 月 26 日（火） 午後 3 時 30 分から

場 所：西海公民館 2 階講堂

代 理 これをもちまして令和 7 年西海市農業委員会第 7 回総会を閉会いたします。お疲れ様でした。

令和 7 年 7 月 25 日

農業委員会会長

議事録署名人

議事録署名人